

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

オニヤンマが牛を守る???

動物飼育管理学研究室 鍋西 久准教授

この夏の日曜日の夕方、十和田市を流れる奥入瀬川で小学生の子供と魚釣りをしていた時のことです。偶然、本学附属動物病院長の左近允先生とお会いしました。左近允先生は、釣り竿（バンブーロッド）から毛ばり（フライ）までを自作するほど、超がつくほどの釣り好き（フライフィッシャーマン）として知られています。その時も、最先端のフライフィッシンググタックルを装備され、十和田で学生生活を送っている時からフライフィッシングを始めた筆者は、川沿いの農道で、子供そっちのけで左近允先生との釣り談義に夢中になっていました。

そんな釣り談義の最中、左近允先生が今もつともホットなアイテムだとして、帽子に付けたプラスチック製のオニヤンマの実物大模型（キーホルダー？）を見せてくれました。正直、外科学がご専門で、容姿も硬派なイメージのある左近允先生が帽子（てっぺん部分）にトンボのキーホルダーを付けて釣りをするのは、（写真1参照）。お茶目なところもあるんだなあ、と正直思いました。

よくよく話を聞くと、オニヤンマのキーホルダーを身に付けて釣りをするのは訳があったの

です。山岳の川（溪）ではアブが多く、釣りに夢中になっている時にはよくアブに刺されることがあります。皆さんお気付きのよう、このオニヤンマのキーホルダーは「アブ避け」だったのです。左近允先生曰く、驚くほど効果的、ということでした。今シーズンは人手できないほど、釣り人の間では人気のアイテムになっていました。

新しいモノが大好きな筆者は、その時、真っ先に頭に発想が浮かびました。放牧地で日々アブに刺されている牛にこのオニヤンマのキーホルダーを付けたら、忌避効果が得られるのではないかと！十和田の山岳地帯にはいくつかの公共放牧地があるので、放牧期間の夏は物凄い数のアブが牛にまとわりつき、牛たちは尻尾をビュンビュン、肢をバタ



写真1 左近允先生のオニヤンマが付いた帽子

バタ、首をフリフリ、相当なストレスだと思えます。それだけでなく、アブは牛伝染性リンパ腫といった伝染病を伝播する吸血昆虫として知られています。現在、いくつかの対策が講じられていますが、どれも決定打に成り得ていない状況です。

頭に浮かんだ発想は、すぐに試してみたくありません。すぐにオニヤンマの実物大模型を入手し、まずはFSC十和田農場の牛舎で試してみることにしました。

（裏面に続く）



写真2 FSC十和田農場の牛舎の様子

十和田農場にもアブはいますが、同じ吸血昆虫のサシバエが圧倒的多数で、牛たちを苦しめています。オニヤンマがサシバエに効くかは不明ですが、やってみないと分かりません。写真2は、FSC十和田農場の牛舎の窓際や通路にオニヤンマ模型を吊るしている様子です。何も知らない人が見たら、滑稽に見える風景でしょうね。気になるオニヤンマ模型の実証結果については次の機会にすると、新しいことを試す時のワクワク感はいいものです。

天敵であるオニヤンマの効果、黄色と黒のシマシマ模様のおかげ、など考えられているようですが、そもそも畜産の分野で忌避効果があるのかどうかについては、もう少し本気で取り組んだほうがよさそうです。もしかしたら、日本の牛舎にオニヤンマの模型がたくさんぶら下がっている光景が常識になるかも・・・今後の進展にこうご期待！

最後に、素敵なテーマを与えてくれた左近允先生に感謝致します。今度は、オニヤンマ付けて一緒に釣りに行きましょう。

十和田農場の家畜飼養頭数

(9月30日現在)

牛	15頭
羊(サフォーク種)	22頭
羊(マンクス・ロフタン種)	14頭
ヤギ	3頭
豚	96頭

9月30日現在の十和田農場の家畜飼養頭数は表のとおりです。

牛は現在3頭が妊娠中で、春頃に生まれる予定です。これから羊も交配が始まり、3月には可愛い子羊たちの姿が見られそうですよ。

今号のどうぶつ紹介

74号で紹介した種雄牛の里藤(さとふじ)を覚えているでしょうか。実は昨年、里藤は高齢のため現役を引退し、代わりに左の里福が後を引き継いでいます。先日、初めての精液採取の予行練習を見事にこなし、今年の実習から活躍できそうです。



牛 日本短角種
里福(さとふく)

牛舎の外から「お〜い」と呼びかけると、喜んで駆け寄ってきます。皆さんもぜひ、遊びに来てください！

次号の予定 と 編集後記

10/9, 10 紅葉祭
10月中 羊の交配

皆さんお久しぶりです。約1年半ぶりの発行となりました。農場では同部たちが変わらずのんびりと過ごしています。

今号から、農場を利用している研究について、担当教員の方々に紹介してもらうことにしています。鍋西先生、ご協力ありがとうございました。

(編集：岩城)



里藤(さとふじ)
(享年10歳)



左上:生まれたばかりの日本短角種(2019年7月)
右下:マンクス・ロフタン種の子羊に哺乳している様子(2019年4月)
下:生まれたばかりの黒毛和種の親子(2019年8月)